



大学生観光まちづくりコンテストで 4年連続入賞の快挙

群馬県立女子大学 国際コミュニケーション学部 教授 安齋 徹

■観光まちづくりを通じた地域活性化プランを競うコンテスト

人口減少・少子高齢化に直面する我が国において「地方創生」が喫緊の最重要課題である中、観光は、海外からの旺盛なインバウンド需要の取り込みや国内観光の振興によって交流人口を拡大させ、地域を活性化させる原動力となります。観光立国の推進に向けては、従来の枠にとらわれない若者の自由な発想に基づくアイデアも期待されており、観光まちづくりを通じた地域活性化プランを競う「大学生観光まちづくりコンテスト」(主催：大学生観光まちづくりコンテスト運営協議会、後援：観光庁、文部科学省、総務省、経済産業省、日本観光振興協会、日本旅行業協会など)が例年開催されています。県立女子大学の安齋ゼミナールでは2013年度から毎年挑戦し、4年連続の入賞を果たしました。



2013年度 ポスターセッション優秀賞

■練りに練ったプランで4年連続の入賞

2013年度は「東日本ステージ」に参加し、「人旅(ひとたび)～あなたを待つ人がいる～」というプランで「ポスターセッション優秀賞」を受賞しました。人旅(ひとたび)とは「1人旅」「人に出会う旅」「1度きりの旅」の意味で、空き家を活用し、地域住民と外国人が交流する様々な機会を創出する旅を提案しました。

2014年度は「東日本ステージ」に参加し、「祈りのランタンで富士山の噴火を阻止せよ」というプランで「ポスターセッション優秀賞」を受賞しました。親子連れの参加者が地元の人達と交流しながら環境についての意識を高めるというストーリー仕立てのツアーを提案しました。



2014年度 ポスターセッション優秀賞

2015年度は「青森ステージ」に参加し、「めぐまりっじ～本州の最北端で愛を誓う～」というプランで「ポスターセッション優秀賞」を受賞しました。地元の商店街や学生も巻き込んだ心温まる結婚式による通年の集客と地域の活性化を提案しました。

そして2016年度は「金沢ステージ」に参加し、「7つの北陸物語～なんとかがやく私の人生～」というプランで初めて本選に出場し「とやま観光推進機構賞」を受賞しました。人生の節目に北陸を訪問することで、一生を通して記憶に残る特別な場所にするという提案を行いました。



2015年度 ポスターセッション優秀賞

■地道な努力と弾ける創造性

数カ月にわたり、調査・分析、現地でのフィールドワーク、企画・立案に邁進し、夏休みは毎日のように討議を繰り返し、ポスターセッションや本選で最高のプレゼンテーションを披露してきた歴代のゼミ生達の地道な努力と弾ける創造性を誇りに思っています。



2016年度 とやま観光推進機構賞